

# 中間評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会 平成23年10月28日(金)

研究課題	マイクロ金型による微細転写加工技術に関する研究	
研究期間	平成22年度～24年度	
	評価項目	平均点
	研究の進捗状況	3.4
	研究内容の妥当性	3.8
	目的達成の可能性	3.4
	期待される研究成果	3.6
	研究継続の必要性	4.0
	<b>総合評点</b>	<b>3.6</b>
<p>マイクロ流体デバイス(<math>\mu</math>TAS)の製作目標に向けて、研究が進捗している。このなかで、流路の材質において、特に血液との反応や塩類濃度との関係等の検討が必要である。</p> <p>また、転写時の型と転写材料の熱膨張と転写後に収縮する分を見込んだ設計とし、特にガラスの場合は、熱膨張が大きいので寸法変化に留意すること。更に、これらの素材以外にフッ素樹脂等、<math>\mu</math>TASの流路に適した材質を選定する必要があるのではないか。</p> <p>今後は、用途に向けての目処をつけ、技術の確立とともに量産化に繋げる研究開発が重要となる。</p>		